

平成26年10月31日

保護者の皆様

## 平成26年度 学校評価【前期】について

京都市立淳風小学校

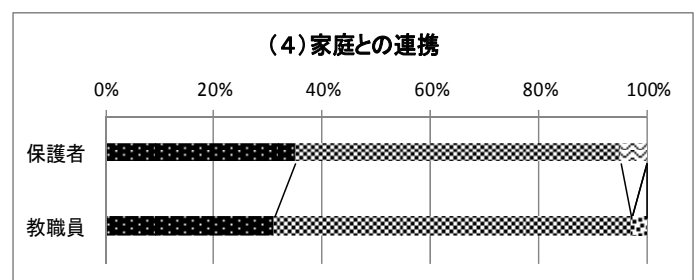
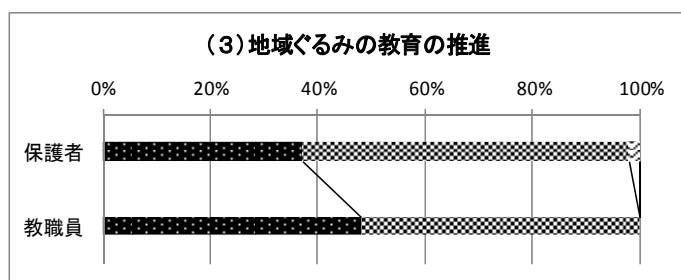
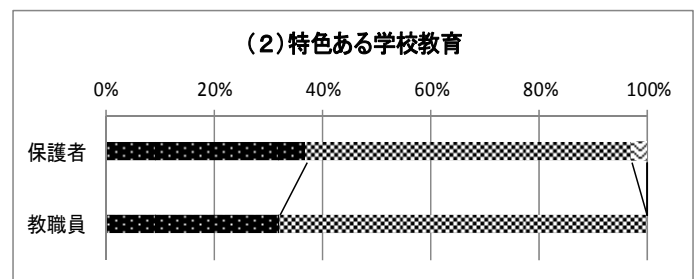
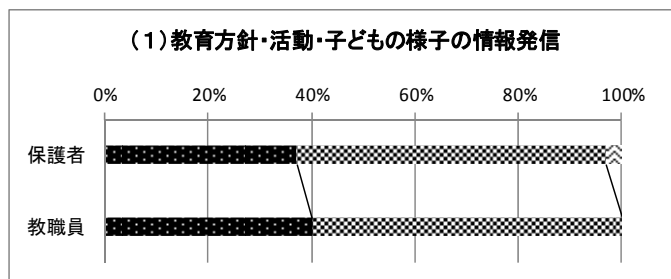
学校評価へのご協力をいただき、ありがとうございます。保護者の皆様からは104通（回答率89.7%）の回答をいただきました。これは、平成25年度の学校評価【後期】（回答率78.6%）に比べ、約11ポイント高い回答率でした。今回の学校評価につきましては、保護者・教職員・児童の評価を行い、学校だけでなく学校運営協議会においても評価結果や自由記述の分析・考察をしていただき、学校改善に向けての具体案の検討を行いましたことも含めまして、お知らせいたします。

## ＜集計結果の見方について＞

今回はマークシート形式で、重要度（評価項目がどれくらい重要か）と実現度（評価項目がどのくらい実現しているか）について回答していただきました。保護者評価と教職員評価を比較するため、評価項目を同じにしました。また、評価基準としまして、実現度においてはグラフ左から、A（よく出来ている）、B（出来ている）をプラス評価、C（あまり出来ていない）、D（出来ていない）をマイナス評価と評価することとしました。

自由記述については、同じような内容はまとめさせていただいたり、要約させていただいたりして示させていただきます。

## ◇ 学校・保護者・地域の連携



・保護者評価では、評価項目(1)(2)(3)(4)において、約90%以上のプラス評価であり、情報発信、特色ある学校教育、地域ぐるみの教育、家庭との連携が推進されていると評価されています。学校だよりや学級通信、学校ホームページの更新を積極的に行って、取組や子どもの姿を伝えています。

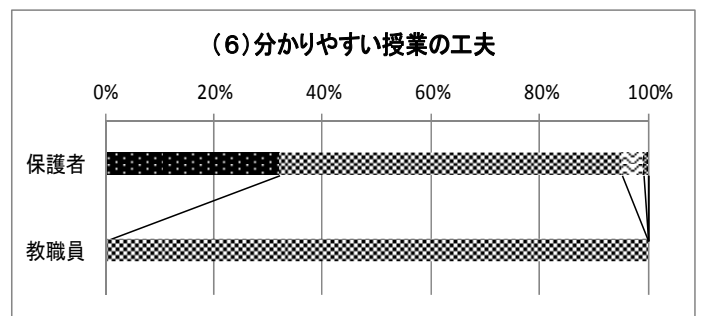
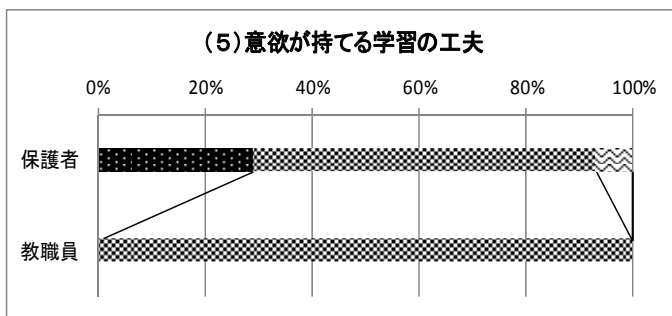
・教職員評価では、(1)(2)(3)(4)が約90%以上のプラス評価で前年度より家庭・地域との連携を進めていますが、電話や家庭訪問など必要に応じた方法で家庭との連携を図り、子どもの状態や課題を共有し、共に同じ視点で子どもに関わっていきます。

・今年は、大雨や台風による土砂災害や自然災害が多く起こっています。特別警報や暴風雨警報が発令された

時の対応について、現在は「電話連絡網」「学校ホームページ」「校門掲示」「PTAメール配信」(申請中)で保護者の方へ周知していますが、情報が発信できないなど想定外のことも起こります。災害に対する対応を「保存用」プリントとしてお知らせしていますので、それに従い対応します。必ずお読みください。

- ・学校だより、学級だよりは様子やお知らせが分かりやすく書かれていると思います。子どもを大切にしてくださっていると実感します。(類似記述 他3)
- ・子どもたちがよりよい学校生活を送るために、学校は保護者や地域と連携して取り組んでいただき、ありがとうございます。(類似記述 他1)
- ・淳風まつりでは、準備等大変だったとは思いますが、子供たちのために色々と考えていただいて楽しく過ごすことができました。
- ・「地域の人との連携」と言いますが、実際は「地域の人のために子供をまきこんだ行動」が多すぎます。どちらが重要かわからなくなっているのではないのでしょうか。子供のためのPTA、子供のために地域の人の協力を得るといのが本来あるべき姿だと思います。

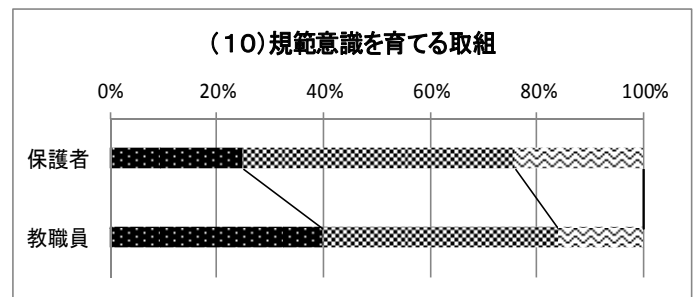
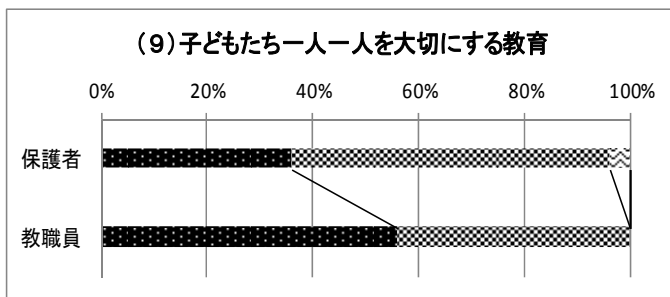
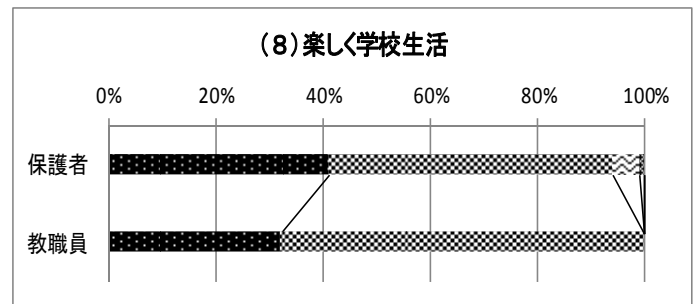
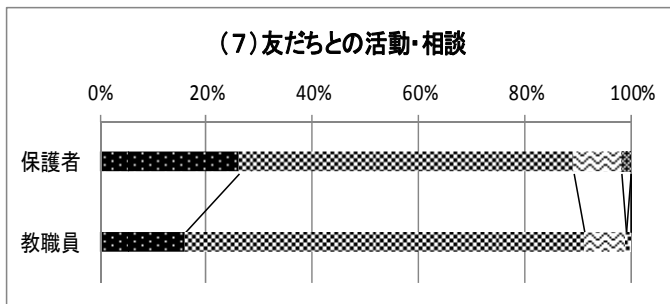
#### ◇ 確かな学力



- ・保護者評価では、(5)(6)共に約90%のプラス評価でしたが、教職員評価ではB(出来ている)として100%の評価になりました。A(よく出来ている)を目指して、分かりやすい授業、子どもたちが意欲的に学習に向かえる授業を目指して、教材研究や指導法の工夫を図っていきたいと思います。
- ・始業前の15分間を音声言語の育成、算数の基礎基本事項の定着に取り組んでいます。朝学習に身に付けた力が毎日の学習や、学校行事、淳風タイムなどに生かされるようにしていきます。
- ・毎月に1週間の読書週間を設定し、子どもが本に親しむとともに、言葉の力や表現力、豊かな想像力などを獲得する時間としています。しかし、全国学力テストや子どものアンケート結果からは、読書時間や図書館に行く回数の少なさが見られます。今年度から保護者の方が図書館ボランティアとして図書館開放や読み聞かせをしていただいています。
- ・今年度は、昨年度より授業参観の回数を若干増やしました。学校行事との関係で、多くは増やせませんが、保護者の皆さんに授業や子どもの様子を見ていただいて、ご感想やご意見をお聞かせください。
- ・学習支援については、教務主任によるチームティーチング、総合育成支援員や学生ボランティアによる個別の学習支援により、学力の定着を目指した授業や、個に応じた授業の進め方や支援を行っています。また、保護者と担任とが子どもの課題について共通理解をし、家庭学習や支援のあり方について相談させていただき、具体的なてだてを行っていきたいと思います。
- ・PTAのご協力により、月・水・金曜日の週3回、放課後まなび教室を実施しています。放課後の子どもの居場所づくりとして、個別の学習支援や学習の進め方について指導や助言を行っていただいています。

- ・授業が楽しく進められる仕掛けがあって、とても工夫されていると思います。学習が楽しいので、友だちと協力したりすることも楽しく何事にも意欲的に過ごせているように思います。(類似記述 他1)
- ・いつもありがとうございます。毎日楽しくしっかりと学びながら、通学できています。
- ・授業参観が多いので、学校の様子などが分かって、また、子供たちの作品なども見れて良いと思います。
- ・人数が少ない分、子ども一人一人に大人が目が届きやすく良いと思います。
- ・クラブ活動など、とても目標を持って取り組んでいます。これからもよろしくお願いします。
- ・勉強が苦手となる児童への取組が何かされているのか、不安である。

### ◇ 豊かな心



・保護者評価では、(7)(8)(9)は約90%でしたが、(10)は約75%のプラス評価で昨年度より約5%のマイナスポイントでした。教職員評価では、(7)は約90%、(8)(9)は100%、(10)は約85%のプラス評価でした。

・今年度は、『あいさつをする』『きまりを守る』の2点を重点目標に設定しています。

子どもたちが友だちとよりよい関係を築けたり、楽しく学校生活を過ごしたり、友だちを大切にしたりしていることを嬉しく思っています。学校では、子ども同士のよりよい人間関係の構築や人権教育の推進を教職員一同が意識して取り組んでいます。規範意識の育成につきましては、京都市全校の重点項目であり、本校におきましても学校のきまりやルールを見直し、学級のルールの共通理解、学習規律の見直しなどを行っています。

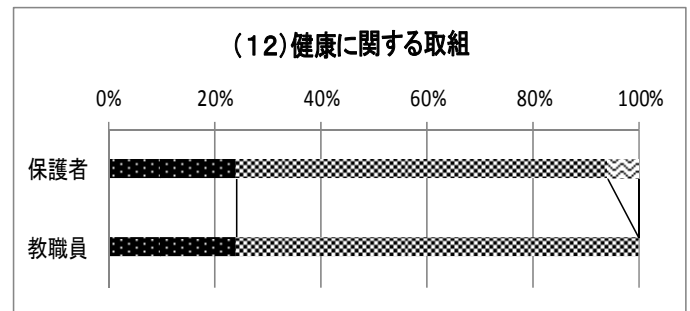
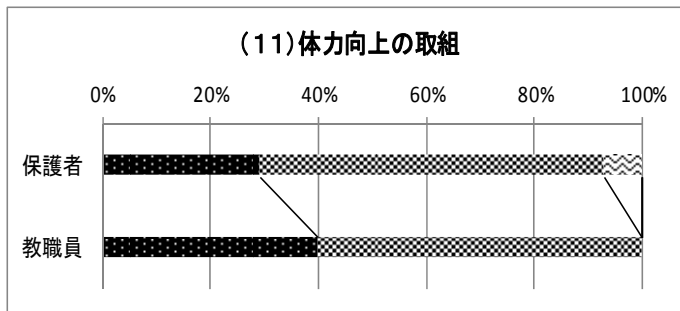
・「あいさつ」については、自由記述では「自分からあいさつができるようになってきた」という評価の反面「あいさつができる子とできない子がいる」という評価もあります。子どもたちのアンケート結果では、「あいさつはできている」と答えている子どもがほとんどです。あいさつしているつもり、あいさつされたらする、などを「あいさつしている」と捉えているのかもしれませんが、今年から教職員や児童代表委員が通用門に立ち、あいさつ運動をしています。自分から相手に届く「あいさつ」を目指して取組を継続していきたいと思えます。

・先日の運動会においても、4年生以上の子どもたちが、係活動や前日準備をしっかりと行ってくれました。縦

割り活動では、高学年の子どもが低学年の子どもにやさしく接する姿をたくさん見かけます。リーダー性を発揮し、あんなお姉さんお兄さんになりたいという目標になってくれるようみと願っています。

- ・子供一人一人を尊重して見ていただいているので、子供も楽しんで学校に通う事ができていて、とても有難く思っています。子も、学校生活をとても楽しく過ごしている様子ですので、何よりだと思えます。今後とも宜しくお願ひいたします。(類似記述 他3)
- ・1年生に上級生たちが声をかけたり遊んでやったりしてくれているのが、ありがたいです。地域のみなさんも特に低学年にはご配慮頂いているのがよくわかり、助かっています。
- ・教職員の方が校門に立ち挨拶をされているので、淳風小学校の子供は地域の方にも自分から挨拶ができていますので、今後も続けてほしいです。
- ・旗当番で大宮五条の交差点に立った時に、「おはよう」と元気にあいさつできる子は、半分くらいしかいなかった。最近是不審者等もいるので、だれに声をかけられても話さないように言っているもので、仕方ないと思いますが、旗当番と学校の先生には、しっかりとあいさつしてほしいと思ひました。(類似記述 他2)
- ・6年生なので、単に勉強ができる、楽しただけではなく、学校生活を心身共に充実したものにしていきたいと思ひます。(類似記述 他1)
- ・夢や希望、目標をしっかりとった子どもにしたいです。
- ・少数のよい面を生かして、子どもたちをご指導していただいていると思ひます。反面、少ない人数のせいとか積極性に欠けるところもあり、もう少し活発になってくれたら・・・とも感じています。

#### ◇ 健やかな体



・保護者評価では、(11)(12)とも約90%以上のプラス評価、教職員評価では100%のプラス評価でした。

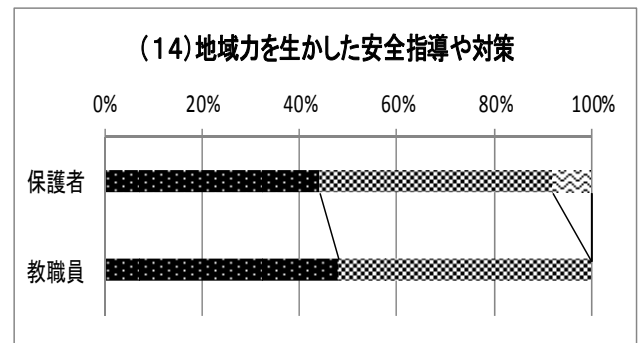
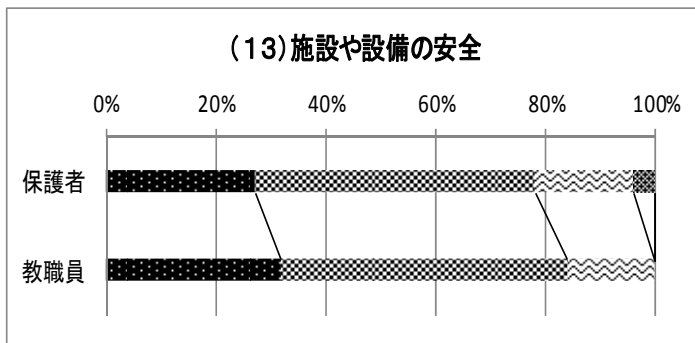
・今年度、学校保健会「健康教育」推進校指定を受けました。過去3年間、研究教科を体育科として体育学習や部活動を通して、子どもの体力向上や運動の楽しさを味わえるような取組を進めてきました。また、粘り強く取り組む力や困難なことを乗り越える力、コミュニケーション力の育成も目指しています。

・体育科だけでなく、生活点検表から子どもの生活の課題を明らかにし、生活改善への取組を図っています。

・心の健康にも取り組んでいます。ボディトークを取り入れ、心穏やかに授業に向かう、リラックスした穏やかな心持で1日をスタートすることで、友だちのよりよい関わりに繋げています。

・京都市交流会や各種記録会、練習試合等に出場し、試す、発揮する機会としています。自信や意欲は、子どもが成長する大きな力になっていると思ひます。

## ◇ 安全・教育環境



・保護者評価では(13)は約80%、(14)は約90%のプラス評価でした。教職員評価では、(13)は約80%、(14)では100%のプラス評価でした。

・教育環境を整えることで、気持ちよく学校生活を送ったり、学習に取り組んだりできます。管理用務員をはじめ教職員が協力しながら、教育環境整備を行っています。

・7月の凧風美化デーでは、PTAや地域の皆様が、日頃子どもたちが掃除できないところをきれいに拭き掃除をしていただいたり、学校周辺の樹木を伐採していただいたり、運動場の側溝に積もった土を出していただいたりして、学校環境整備をしていただき本当にありがとうございました。

・耐震対策につきましては、昨年度から施設整備や全児童への防災頭巾の配布(教育後援会から贈呈)を行ってきました。今年度も、靴箱に転倒防止器具を設置していただきました。今後も、お気づきのことや具体的改善などがありましたら、学校までお知らせください。

・音楽室の机・椅子は児童数に合わせた数にし、児童の活動スペースを確保しています。

・今年度も昨年度に引き続き、大雨や台風、火山噴火などによる自然災害が多く起こっています。大きな自然災害が予測された時の迅速な対応が求められています。学校では地震対策として、緊急地震速報器を教育委員会に設置していただきました。それを活用した避難訓練も実施予定です。また、月1回の避難訓練(シェイクアウト訓練を含む)、緊急下校時の引き渡し訓練などを行っていますが、実施時刻を変える、どこまで周知するか(子ども、教職員)などいろいろな条件を設定して行っています。「自分の命は自分が守る」「自分で判断して行動する」主体的に行動できる子どもの育成を目指します。

・登校時の五条大宮、大宮花屋町通りの交差点におけるPTAの交通安全指導、下校時の保護者・地域の皆様による見守り活動など、常時的に子どもの安心・安全を見守っていただきまして、ありがとうございます。

五条大宮には毎日、郁文学区の交通安全対策協議会の方が立ち当番をしていただいています。1年を通じた活動、継続した取組はいろいろと大変ですが、よろしく願いいたします。子どもたちにも、毎日安全を見守っている方々に対する感謝の気持ちを持つように指導していきます。

- ・学校は古いですが、いつもきれいに清掃してあり、学校門前は特にきれいで気持ちいいです。
- ・夫は学校がもう少しきれいやったらなあと言っています。私は古い中でもきちんと整えられていると思います。コーラス練習の時に思ったのですが、音楽室の机・椅子の数が減っているように思います。児童の数が減っているからですかねえ。
- ・朝の立ち当番は保護者が、帰りの見守りでは地域の方々本当に協力してくださって、凧風小の児童が楽しく、安全に過ごすことができていると思います。子どもたち皆が感謝の気持ちを忘れずに、学校生活を送ってほしいと思います。

(類似記述 他1)

- ・集団登校は危険なのでやめてほしいです。大宮通の歩道はガードもなく，大人数で歩くのには適していません。
- ・建物が古いので，耐震等は心配していますが，取組などについては，満足しています。
- ・学校が安全であることは“何よりも”重要なことだと考えます。耐震性がない校舎に，大人の事情で居続けることは意味がわかりません。地震が来るかどうかは重要なのではなく，来ても安全かどうか重要です。統合，急いでください。
- ・避難訓練の様子をホームページで見て，みんなが真剣に取り組んでいるので，正直びっくりしました。今は自然災害が多く，人ごとではないので，このような姿を見て，たくましく思いました。

#### ◇ その他

- ・大文字駅伝に対するご意見がありました。「駅伝というのはチームで勝つために努力し，活動の中で協調性やチームワーク，また達成感などを経験させるためだと思うのに，子どもの参加の意思を尊重する取組になっていきますか。」という内容でした。

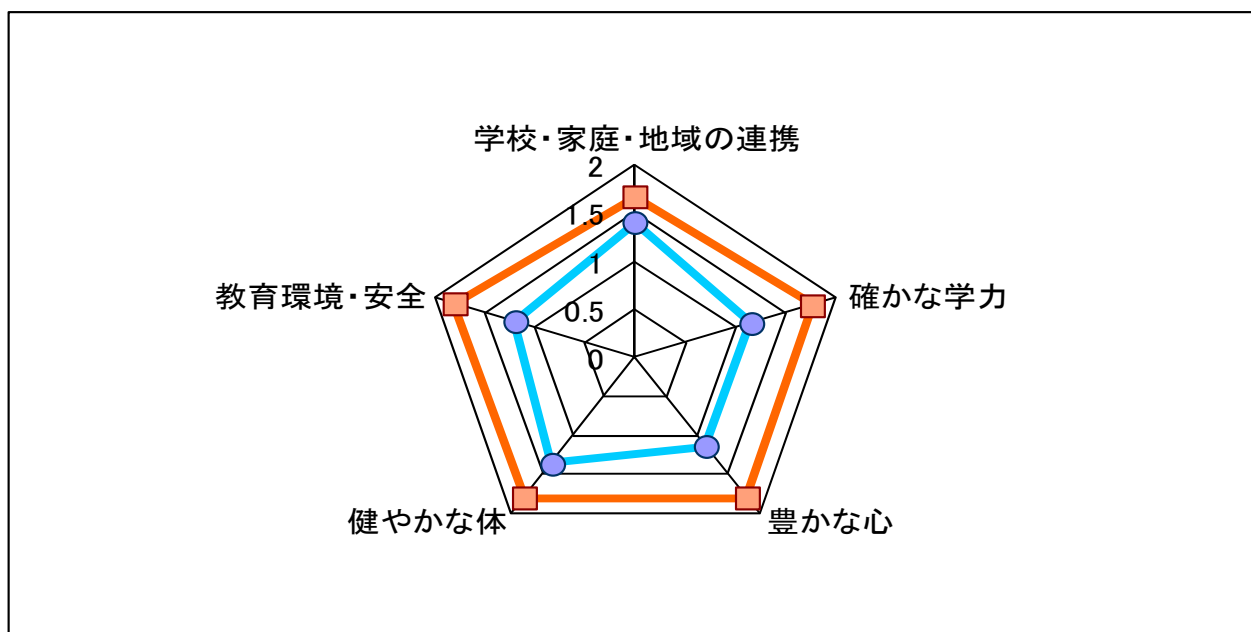
大文字駅伝支部予選会は支部行事として，毎年下京・東山支部の全小学校が出場します。学習においてもスポーツにおいても，努力する過程が大切です。淳風小学校においても，毎年6年生が朝や放課後に練習してきました。6年生の人数が多い学校は希望者の中から選手を選べるのですが，本校は小規模校ゆえに参加人数が揃わないこともあり，クラス全員で頑張ろうというスタンスで取り組んできました。できればチーム編成人数（男女各7名，内リザーブ男女各2名）を満たしたいという思いがあり，練習への参加を強く呼びかけましたが，6年生の子ども一人一人にはいろいろな思いや事情がありますので，練習に参加するかどうかは本人の意思を尊重するようにしました。

【重要度：実現度の相関】

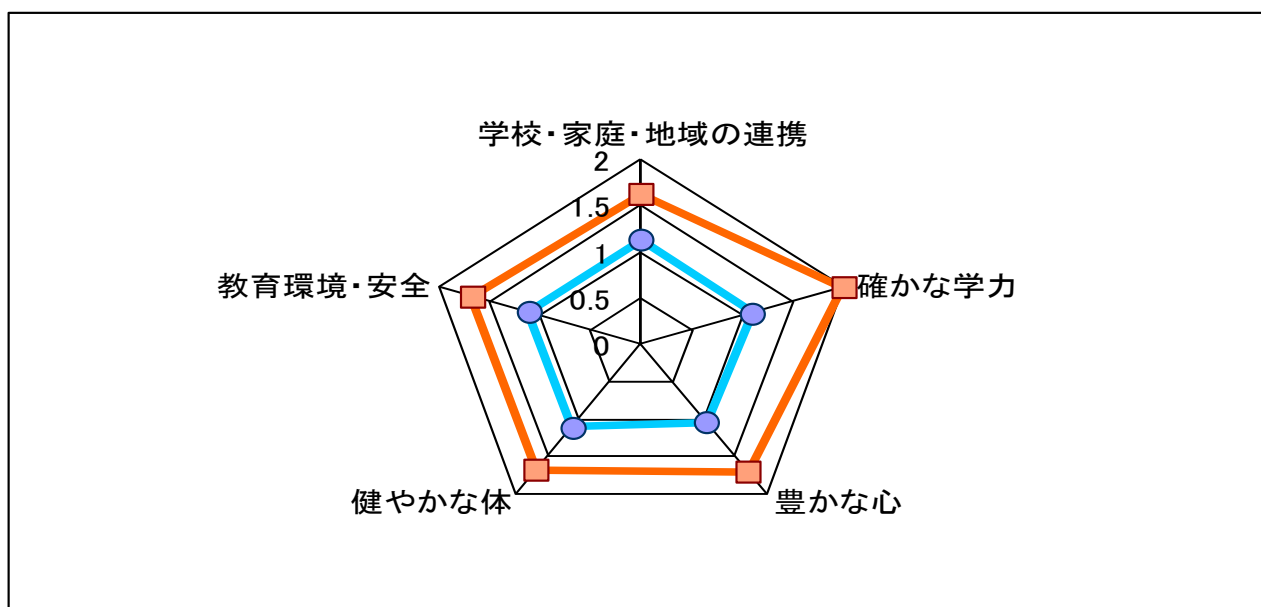
○—○ 重要度

□—□ 実現度

&lt;保護者&gt;



&lt;教職員&gt;



14の質問項目を「学校・家庭・地域の連携」「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「教育環境・安全」の5つ項目にまとめて統計処理をしました。保護者・教職員共に、どの項目も重要度に比べて実現度が上回っています。実現度の値が2（外側）に近いほど項目が達成されていると言えます。

保護者では、「学校・家庭・地域の連携」にやや課題があるというデータが表れています。

教職員では、「確かな学力」で高い数値が表れており、学力向上について努力していると言えます。

## 【学校運営協議会より】

- ・ 道であいさつしたときに、あいさつを返してくれる子どももいるが、子どもがあいさつを避けるような傾向がある。“積極的に”という姿勢に欠けるところがある。
- ・ 郁文校区の立ち当番の方は、季節を問わず天候の悪い日でも子どもの安全を見守っていただき、たいへん感謝している。
- ・ 部活動（伝統文化部）や茶道の学習の時に顔をなじみになったので、子どもからあいさつをしてくれるようになった。
- ・ 「知らない人から声をかけられたら、関わらないように。」という指導があるためか、あいさつをしにくいこともあるかもしれないが、顔見知りの大人には、自分からあいさつする子になってほしい。
- ・ P T Aアンケートから、「大宮通の歩道を自転車で走る」「コインパーキングから出る車に接触しそうになった」「大宮花屋町の交差点で、右折車が横断している子どもに接触しそうなおことがあった」など危険なことの指摘があったので、改善できないだろうか。
- ・ 丹波街道町で信号を無視する自転車があり、人の横断が危ない。
- ・ 大宮通の歩道を走ったり、逆行したりする自転車があり、危険である。
- ・ 大宮花屋町の交差点については、交通安全対策協議会から下京署に危険なことを申し入れ、右折信号設置の要望をしている。
- ・ 自転車の通行については、交通対策協議会と下京署がタイアップして、自転車の指導を行っていく。
- ・ 統合については、自治連とP T A代表者とが醒泉学区や関係学区と協議を進めている。統合の話が出てきた時点で、淳風での協議と並行して、教育委員会が醒泉へも働きかける必要があった。様々な問題があるが、子どもたちのために早期に統合できるように統合協議を進めてもらいたい。

10月23日に学校運営協議会理事会を行い、今回の学校評価のデータや自由記述、学校コメントをもとに、協議をしていただきました。

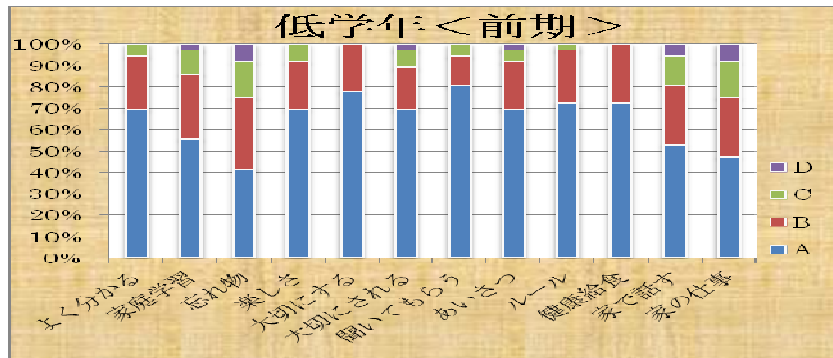
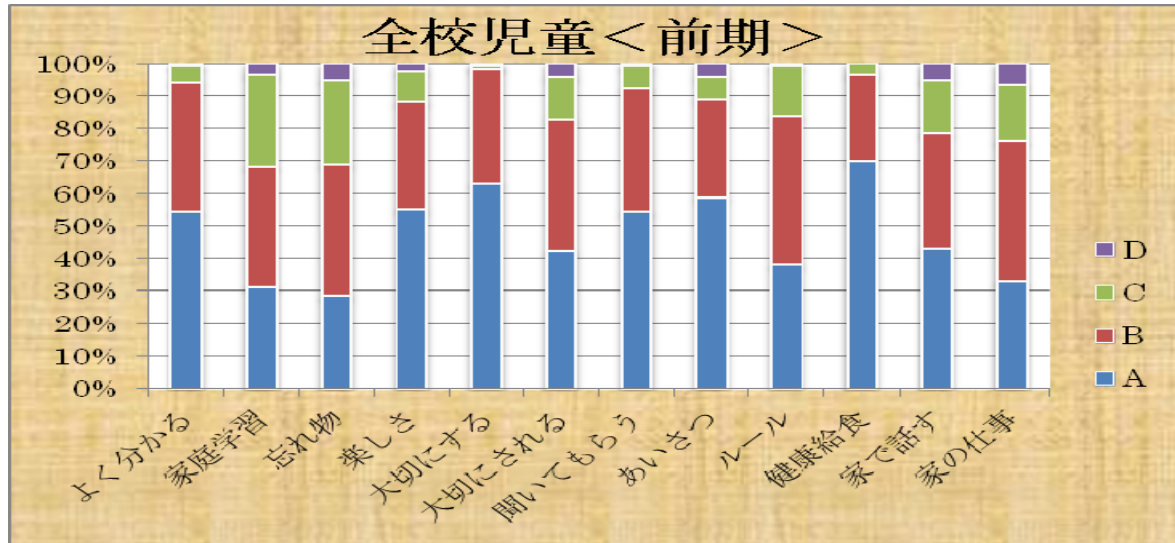
おもに「あいさつ」「通学路の安全」「学校統合」について、協議が行われました。その概要については上記の通りです。

「あいさつ」については、保護者評価や教職員からも課題として挙がっています。「自分から相手に伝わるように」を目標に、継続的に取り組んでいきます。

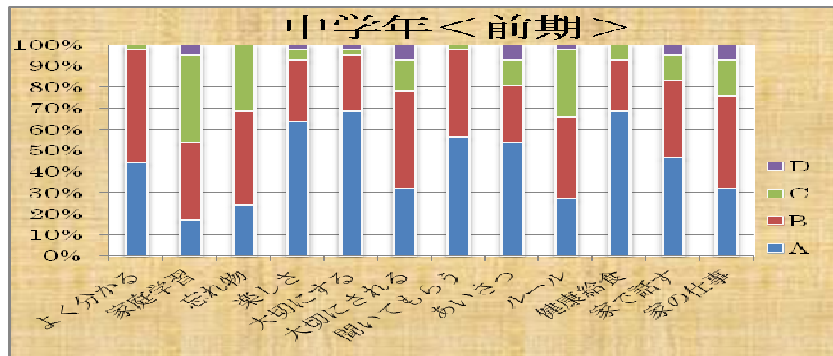
「通学路の安全」については、P T Aで校区の安全に対するアンケートを取っていただき、危険な所や情報を集約していただいています。今後、P T Aや交通対策協議会や地域関係機関と協議しながら、安全対策を行っていきます。信号機設置などの設置につきましても検討し、関係機関に要望していきたいと思います。

「学校統合」につきましては、地元協議が始まっており、『醒泉小・淳風小の2校統合で、統合時期 平成28年4月』を目標に統合を進めることが確認されています。今後は、校地・校名について、両校での合意に向け具体的な協議を継続的に進めていきます。また、協議の状況等につきましては、統合推進委員会だより「toGoooo!!」等で発信していきます。ご意見などがありましたら、学校や統合推進委員にお伝えいただく、または図書コーナーの「ご意見箱」への投書をお願いします。

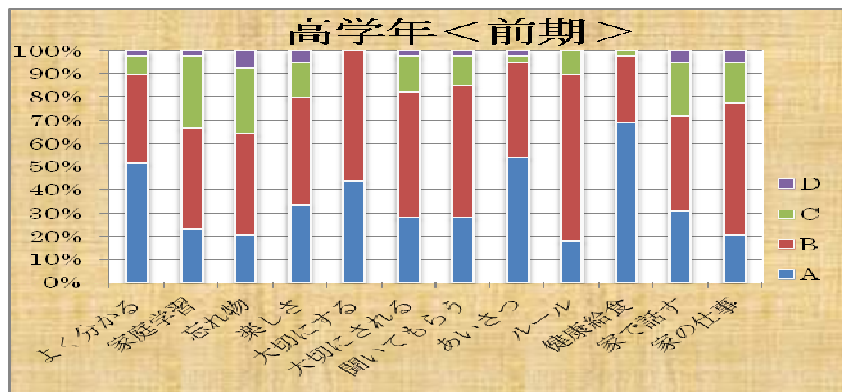
平成26年度 児童アンケート（116名）結果



低学年  
<36名>



中学年  
<41名>



高学年  
<39名>

児童に対しては、昨年度と同じ12の質問項目に対して、4段階の選択肢で回答する形でアンケートを実施しました。

どの項目においても、おおむねプラス評価の回答が多く見られます。数字の上では、多くの児童が良好な学校生活・家庭生活を送っていると言えます。また、当然のことかと思われませんが、低学年ほど各項目における数値がよい傾向があります。この状態の気持ちを大切に、さらに伸ばしていけるように学校のいろいろな取組を進めていきます。

ただし、その中で、気になる部分も見られます。

家庭学習と忘れ物については、課題を感じている児童の割合が高学年ほど多く見られます。自分の課題をしっかりと認識できていると言えるかもしれませんが、そこからどのように改善しようとするかが大切です。特に、忘れ物については、学習の困りを児童自身がどれだけ認識できているかが気になります。準備物がきちんとそろっていることは毎日の学習を支えていく大切なことで、先を見通した計画的な自らの学習を進めていく上でも大事なことです。

また、周囲から大切にされていないと感じている児童が何名かいることは気になる点です。この結果は、同時に自分の思いを聞いてもらえていると感じられていない児童や家庭でいろいろなことを話すことが十分にできていない児童の数値にも関わりがあるようにも感じられます。児童自身の様子をしっかりと見つめ、自己肯定感を高めていけるよう学年・学校としての取組をさらに進めていかなければなりません。そして、家庭での仕事などをしっかりとさせていくことで、自分の役割を明確にし、役立っている感を認識できるよう呼び掛けて、家庭との連携の中で高めていけるようにしていきたいです。

長年の課題とされているあいさつについては、周りで感じられる状況とは違い、児童の回答は低くはなっていません。しかし、高学年になるにつれて、恥ずかしさからなかなかはっきりと声に出せていないようなので、全員があいさつするという習慣化が引き続き大切かと思えます。児童会での生活目標にも取り入れ、児童のがんばり目標としていきます。

また、昨年度の結果（前期）と比較してみると、全体として大きな変化は見られません。個別の項目については、「友だちを大切にする」や「ルールを守る」や「健康給食」において数値が少し伸びています。「家庭学習」や「家で話す」の数値が少し下がっています。

「食や健康」は、全ての生活の基本と考えられます。ややもすると、ゆっくり時間をとれない給食ですが、できるだけ時間を確保し、楽しく話しながら食事を楽しめる時間を工夫していきたいです。「家庭学習」の定着は、自学自習の学びのスタイルを確立し、中学校での学習へとつなげていくためにも重要な項目です。取り組む課題になる内容のヒントを与えたり、成果に対する評価をしっかりとしたりしていく工夫が必要かと思えます。各家庭で子どもと話される内容の一つにもしていただき、学習環境の充実に向けて家庭との連携を図って進めていくことを目指します。その上で、「規範意識」や「仲間意識」などの日常的に大切にしていきたい内容を学級集団のまとまりを作っていく中で伸ばしていきたいです。